

2021 年 10 月 29 日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

## 「第9回プラチナ大賞」にて大賞・経済産業大臣賞を受賞

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、10月21日(木)に開催された「第9回プラチナ大賞」(主催:プラチナ構想ネットワーク/所在:東京都千代田区、発起人代表:小宮山宏氏)において、森林信託事業※1(以下、「森林信託」)が最上位である大賞・経済産業大臣賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

我が国は世界有数の森林国であり、戦後植林された森林の半数は本格的な利用期を迎えておりますが、その利用が進まず、逆に悪影響が拡大しています。適切な森林の利用ができない原因として、主に森林の小規模零細な所有構造、都市部への人口集中による村外地主の増加、所有者不明林の発生などが挙げられます。

当社はこれら社会的課題を解決するために、「森林信託」を開発しました。今回の受賞は、財産管理を担う「信託の力」と最新のデジタル技術を融合させ、新たな価値を創造した点が高く評価されました。

当社は引き続き、我が国の金融・社会課題に真正面から取り組み、雇用創出と人口増加を可能とする地方創生、そしてプラチナ社会の実現を目指してまいります。

### プラチナ構想ネットワークおよびプラチナ大賞とは

プラチナ構想ネットワークは、「プラチナ社会」という、エコで、高齢者も参加でき、地域で人が育ち、雇用のある、快適な社会を目指したワンランク上のまちづくりを進める全国規模の連携組織です。「プラチナ大賞」は、「プラチナ社会」に向けた優れたモデルを称え、広く社会に発信することを目的に創設されました。



プラチナ構想ネットワーク Web サイト:<https://www.platinum-network.jp/index.html>

以上

### ※1 森林信託事業

当社は、2020年8月、岡山県西粟倉村に森林を所有する個人のお客さま(以下、所有者)より、約10haの森林を信託財産とする「森林信託」を受託しました。当社は所有者に代わって林業事業体への経営の委託、収入の管理などを行い、所有者や所有者が指定する方に対して主伐や間伐等による利益の配当を行ってまいります。

森林信託は、林業再生や地域の活性化を進める「信託ならではの」SDGsへの取り組みです。